

令和元年度決算特別委員会を 設置

(市長提案の説明要旨)

令和元年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月13日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額6億77億2千36万5千円、歳出総額6億55億6千8百42万9千円、実質収支は2億1億3千2百86万6千円となりました。

歳入では、市財政の根幹をなす市税について、個人市民税や固定資産税が増となり、決算において、3年連続して前年度を上回る結果となりました。

歳出では、木造住宅の耐震化リフォームやブロック塀の撤去費用の補助拡充、家庭ごみ有料化及び戸別収集の開始、学童クラブの3クラブ開設、花小金井南中学校地域開放型体育館の建設着手、駅前再開発事業の推進、公共施設マネジメントの取組の推進など、第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

市税収入は前年度を上回りましたが、各種財政指標は悪化しており、さらに新型コロナウイルス感染症の影響により市税等の大幅な減収が想定されるため、非常に厳しい財政運営が続くものと考えています。このような状況の中で、真に必要なとされる

事業をしっかりと進めるために、今後も財政調整基金残高の確保に努めるとともに、選択と集中の取組を推進し、持続可能な財政運営に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額8億8千6百46万9千円、歳出総額6億9千3百86万9千円、実質収支は1億9千2百60万9千円となりました。

後期高齢者医療制度への移行に伴い、被保険者数が減少する一方で、医療の高度化が進展した影響を受け、1人当たりの医療費は増加しています。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ1億3千93万5千円、2・8%の減となり、一般会計繰入金金は2億6千9万9千円、20億6千9万9千円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ1億7千6百41万1千円、1・6%の増となりました。

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額4億3千4百84万7千円、歳出総額4億1千3百40万6千円、実質収支は2千44万1千円となりました。

歳入では、被保険者数の増などにより保険料が前年度に比べ5千6百79万7千円、2・6%の増となり、歳出では、療養給付費負担金の増などにより広域連合納付金が前年度に比べ1億1千9百50万7千円、3・0%の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は2万3千3百34人となり、前年度より70人、3・1%の増となりました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百36億8千4百88万9千円、歳出総額百34億6千3百34万1千円、実質収支は2億2千

53万9千円となりました。歳入では、法定負担割合に応じた国庫支出金等の増により前年度に比べ6・0%の増となり、歳出では、保険給付費等の増により前年度に比べ6・3%の増となりました。

第1号被保険者数は4万5千2百49人、要介護、要支援の認定者数は9千3百70人となり、ともに前年度より増加しました。

【下水道事業会計】

本決算は、地方公営企業法を適用した初年度決算となります。収益的収入は44億1千3百40万9千円、収益的支出は39億1千3百73万9千円となりました。

また、資本的収入は9億8千4百73万8千円、資本的支出は18億9千5百28万9千円となりました。下水道プランに基づき、浸水対策及び下水道施設の老朽化対策等に取り組んだほか、地震対策では、これまで対象外としていた重要な下水道施設について、耐震診断調査を実施しました。

◎委員長 ○副委員長
■一般会計決算特別委員会

◎松岡あつし ○山岸真知子
◎小林洋子 ○伊藤 央

◎津本裕子 ○橋本久雄
◎細谷正 ○水口かずえ

◎山崎とも子 ○山田大輔
◎佐藤 徹 ○鈴木だい

◎中江美和 ○橋本孝二
◎比留間洋一 ○福室英俊

◎幸田昌之 ○吉本ゆうすけ

政務活動費収支報告

令和元年度(5月分以降※)の政務活動費について、収支を報告します。

※令和元年5月に議員の改選が行われたため、改選後の議員任期における令和元年5月分以降について報告します。

政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。

会派の所属議員数に応じ、1人当たり月額3万円を掛けた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

令和元年度(改選後5月分以降) 会派別収支状況

単位：円

経費項目	説明	会 派 名 ・ 人 数 (令和2年3月31日現在)							合計
		政和会 7人	市議会 公明党 6人	フォーラム 小平 4人	一人会派の会 4人	日本共産党 小平市議団 3人	生活者 ネットワーク 3人	まちづくり 市民こだいら 1人	
交付決定額 (A)		2,310,000	1,980,000	1,320,000	1,320,000	990,000	990,000	330,000	9,240,000
調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	824,478	9,710	475,141	304,290	0	240,578	0	1,854,197
研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	280	694,250	10,906	52,087	153,152	25,000	26,700	962,375
広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	332,837	303,551	657,214	0	453,200	485,369	342,638	2,574,809
広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	804,927	0	0	0	0	0	0	804,927
要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	4,893	66,566	20,590	113,584	19,190	92,930	0	317,753
資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	54,108	85,564	58,968	97,624	102,276	173,371	0	571,911
人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計 (B)		2,021,523	1,159,641	1,222,819	567,585	727,818	1,017,248	369,338	7,085,972
返還額 (A - B)		288,477	820,359	97,181	752,415	262,182	0	0	2,220,614

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でご覧いただけるほか、ホームページでも公開しています。詳しくは小平市議会のホームページ (<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>) をご覧ください。